



都知事選開票

三つともえ庄勝で制す

小池氏 當選確実

都政新報

発行所 都政新報社
〒160-0023 東京都新宿区
西新宿7-23-1 TSビル
(総務・読者) 03-5330-8781
(企画広告) 03-5330-8784
(編集) 03-5330-8786
(出版) 03-5330-8788
(アカウス) 03-5330-8808
購読料 月1,730円(税込)
毎週火・金曜日発行
ただし、祝日は休刊
©都政新報社 2016

号外

詳しく述べは8月2日付の都政新報で

当選確実となり、事務所でいさつする小池氏=31日午後8時すぎ

都知事選が31日に投開票され、無所属で元防衛相の小池百合子氏（64）が、同じく無所属の前岩手県知事の増田寛也氏（64）＝自民、公明、こころ推薦＝、ジャーナリストの鳥越俊太郎氏（76）＝民進、共産、社民、生活推薦＝らを破り、初当選を果たした。都政史上で女性知事が誕生するのは初めて。全国で女性知事が誕生するのは、太田房江氏が大阪府知事選に初当選した2000年以降で7人目となる。

午後8時に当選確実が報じられる
と、小池氏は豊島区の選挙事務所に
現れ、集まつた支援者らから大きな
拍手で迎えられた。多くの都民から
支持を得た結果について「新しい都
政への期待の表れ」と語った。

懸念される都議会との関係につい
ては、都民を最優先にした都政実現
に向けて都議会と連携する考え方を示
し、「都民ファーストの都政実現」
を強調した。また、8月5日に開幕
するリオ五輪の開会式には出席しな
い考えを示すと共に、4年後に迫つ
た東京五輪の開催費用の負担に関す
る国や組織委員会との協議について
は、都民を負担を減らす方向で協議
する考え方を表明。「一番のポイント
は情報公開。都民のための都政を取
り戻すため、五輪は一つの試金石に
なる」と話した。

小池氏は7月15日、兵庫県芦屋市生まれ。カイロ大学社会学科卒業。ニュースキャスターを経て、1992年の参院選で旧日本新党から出馬し初当選。翌年に衆院議員となり、衆院選当選は8回。新進党、自由党、保守党を経て02年に自民入党りし、05年の郵政解散選挙で東京10区に国替えした。環境相、党総務会長などを歴任した。

都政新報購読
お申し込みは
5330・8781